

●三保谷地区 まちづくり懇談会記録

平成23年7月22日(金)午後7時～9時 (三保谷公民館)

魅力あるまちづくり

	質問事項	答弁要旨	答弁者
①	<p>リーディングプロジェクトの3番、生活基盤充実プロジェクトの関連で平沼バス停付近に放置自転車が個人の敷地に3台から7台くらいあり、地権者の方が大変困っています。</p> <p>鴻巣県道の上八ツ林に県の管轄と思いますが、新しい駐輪場ができました。</p> <p>平沼にもそうした駐輪場の案があるかどうか教えてください。</p>	<p>上八ツ林の駐輪場の底地はほぼ町の土地で県で整備を行いました。</p> <p>あとは小見野の諏訪神社のところにあります。ほかに下伊草の落合橋の下に防火水槽がありますが、その上に駐輪場を作っています。</p> <p>全ての場所に駐輪場を設けるのも難しいですし、用地の問題もあります。</p> <p>バス停近くの方で有料で自転車の受け入れをしてくれる人もいますとありますが、用地の部分を調整しながら現地を確認して回答させていただきます。</p>	政策推進課長
②	<p>集落センターの維持管理についてお尋ねします。</p> <p>私どもの集会所は築後30年ほど経過し老朽化が進んでいます。</p> <p>毎年字費から引き当てをしていて120万～130万円ほど積立をしています。</p> <p>平屋なのでシロアリの心配もあり、町の方で建物の診断をしていただけないでしょうか。</p> <p>私たちは建物の構造など素人なものなので町で診断して指摘をしてもらい、はっきりしたデータにより皆さんに説明して計画的に維持管理を行いたい。</p> <p>個人の住宅は自己責任で診断するものですが、集落センターは公共性の高いものなので、診断していただき長く有効活用したいと思います。</p>	<p>集落センターの維持管理については助成がなく、集落で管理していただいているのが現状です。</p> <p>そういった中で「自助」、「共助」の話もありましたが、厳しい財政状況の中で地域でできることは地域でお願いしています。</p> <p>助成ができるのは現在耐震に関するものだけです(個人の住宅のみ)。それ以外の老朽化等については判断基準もなく助成は難しいと考えます。</p> <p>10年に1度は定期的に検査を行うことが建物を長持ちさせるには必要と聞いたことがあります。</p> <p>町としてもどこが悪いかという指摘はできません。みなさんのための公共施設ですので建物状況の確認については専門の建築業者をお願いしていただければと思います。</p>	町長 政策推進課長
③	<p>三保谷地区においては子どもの減少が非常に激しくなっています。独身の時は親元から通勤し、結婚すると町外に家を持つというパターンが多く見られます。</p> <p>254バイパスの東側では若い人が定住しない理由は単に通勤困難というだけの問題ではないと思います。</p> <p>そうした中で子育て支援を手厚くしていただけないものかと、例えば伊草地区では学童保育などあります。結婚したら町外に住むというのは生活環境の不便さもあろうかと思っています。</p> <p>伊草地区にはベイシアを中心とした大型商業施設もあります。</p> <p>子育て支援はここに住んでいればこういうメリットがありますよというものを作ってもらえれば定住が図れるのではないのでしょうか。</p>	<p>子育て支援にもいろいろありますが、金銭的な支援については他の市町村と比較してもそんなに引けを取らないと思います。</p> <p>学童保育についてはすでに調査を行い、市街化調整区域の中で20人ほど利用したいという方がおりますので、早急に検討してまいります。</p>	町長

④	<p>市街化調整区域には開発に制限があります。土地はたくさんあるわけですから白地地区の開発がしやすい環境作りをお願いします。</p> <p>妻帯者が100坪程度の広い家を持ち、家庭菜園ができ、静かな環境で子育てができるような状況を作っていけばインター周辺企業に勤める方も土地が安いわけですから購入を希望する方もいるのではないのでしょうか。</p> <p>ただ自然に任せているだけではこういう地域の子どもは減っていくわけですから、目的をもった施策が必要と考えます。</p>	<p>調整区域の開発については現在検討している最中です。</p> <p>都市計画法の見直しをかけていかなければならないわけですが、むやみに家を作るというわけにもいかず、道路や排水路といったものも整備していかなければなりません。</p> <p>町ではそういう場所を探しているところで、地域のみなさんにもご理解ご協力をいただかないとできないものです。</p> <p>開発しやすい区域は、学校を中心とした半径500m以内という条件がありますので、その中で候補地を探しております。いくつかの候補地ができましたら皆様にもご相談させていただきます。</p>	町長
⑤	<p>三保谷小は82名で6校のうち一番少ない状況で、このままだと経費節減などで統廃合といったことも懸念されます。</p> <p>議員定数も削減されましたが、なんでも減らせばいいという考えだと町がさびれてしまいます。</p> <p>活性化するには大胆な政策が必要ではないでしょうか。</p>	<p>議員の定数削減については皆様方からの声が議員さんに届いて議会から提案されたものです。</p> <p>私個人としては幅広く意見を出すという意味では減らしすぎるのはどうかなと思います。</p> <p>学校の問題については、合併をする前に何かできないかということを考えていて、リーディングプロジェクトの中で都市計画法の活用により定住促進を進めることが先で、どうしてもできないときは、その時考えるということを進めています。</p> <p>皆様方の総意の中でそういう地域が指定できるのであればと思います。</p>	町長
⑥	<p>県道栗橋川越線の歩道整備については県で決定されたと聞いていますが、その後の計画、進捗状況や今後の方向性をお聞かせください。</p>	<p>川越栗橋線については今年度残っている買収を行うというこで進んでいると聞いております。</p> <p>詳しい状況を確認して後ほどご回答します。</p>	まち整備課長
⑦	<p>自警団は団員を集めるのに苦慮しています。</p> <p>自警団のやるべき作業とは何か教えていただきたいと思えます。</p> <p>私が認識しているところによるとポンプ操作、消火という作業に特化された組織と言わざるをえません。</p> <p>今も月1回のホース点検や12月の年1回の点検も行っておりますけれども、果たして今の時代に自警団がポンプを持つことが必要だと言える理由もありません。</p> <p>火事後の残り火についても消防署で鎮火後2時間おきに巡回して完全消火しているとのこと。</p> <p>自警団は消防活動よりも水防活動などに重点を置くべきではないでしょうか。</p>	<p>自警団組織は古い歴史をもっておりまして昭和30年代に川島町の消防団が合併を重ね、現在の消防団の組織になっています。</p> <p>そうした中、消防活動が不備になってきたということで、区長さんのもとに各地区で自警団組織というものが作られました。</p> <p>今は常備消防もできましたし、消防団もそのまま残っています。</p> <p>町ではあえてポンプを持たなくてはいけないということはないので、各集落の中でしっかりと確認し合ってやっていただければと思います。</p> <p>下八ツ林であった火災では、夜の見回りは地域でやっていただいたようです。その関係については、消防署に確認させていただきたいと思えます。</p> <p>今回のような災害もありますし、川島ではこれから水害の時期にもなります。そのような中では「自助」、「共助」ということもありますので、地域に住んでいる方全員が自警団員という認識が必要なのではないかと思えます。</p> <p>また、水防活動については、町からも水防交付金を自警団に対し交付しておりますし、水防訓練の際は自警団長さんにも参加していただいております。</p>	町長 政策推進課長
⑧	<p>PTAから尋ねられたんですが、土地改良区の用水・排水の浚渫は10年ほど前は技術銀行というのがあり、やってもらっていました。</p> <p>今は泥上げの補助金はいただいておりますが、大きな水路の浚渫は今受付してもらえるのでしょうか。</p>	<p>浚渫については今でもやっております。場所を記入して土地改良区の事務局へ申請していただければと思います。</p>	町長